

私たちは安全に 避難できるのか？

検証！女川原発避難計画

～脱原発ひまわりネット第5回学習会～



10月7日 脱原発ひまわりネット学習会

10月7日（水）午後、女川原発の避難計画を検証する学習会に参加しました。「脱原発ひまわりネット」の主催で、女性弁護士がパワーポイントを使って、くわしく報告しました。

宮城県の防災計画や自治体の課題について、宮城県に対して5回にわたる質問をし、関連自治体にも問合せ、その回答について検討して、ひまわりネットとしての判断を示しました。

第一部は、宮城県地域防災計画の問題点について、用語の説明も丁寧に入れながら、メンバーが分担して報告しました。

1 オフサイトセンターについて→いざという時機能できるのか、21万人もの住民を主導できるのか疑問、と。

2 避難指示が住民に届くのか→避難指示の決定過程での国の関与、県の災害対策本部と現地災害対策本部との役割分担が不明確、国・県・市町のそれぞれの判断や相違したときの対応が不明、訓練による避難計画の実効性検証も未了で避難指示が届くのか？と。

3 UPZ内の自治体は県の指示無くても指示を出せるのか？ 4 避難者の輸送手段は確保されるか

5 PAZ（5キロ圏内）とUPZ（5～30キロ圏内）の住民を誰が救助するか？ 6 段階的避難（PAZが最初に避難し、UPZは避難せず建物内にとどまり、その後風向きなど考慮して避難）は可能か？

7 被ばくさせずに避難させられるか？ 8 ドライイベントによる被ばくは？ 9 要保護者の避難 10 広域避難（県外も含む他の市町村）の避難先は？

11 安定ヨウ素剤（内部被ばくの防護のため）を配ることは可能か？——について、県からの回答をさらに精査して問題点をまとめ、再質問を重ねて得た内容を検討してまとめたことが報告されました。

よく考えると、「そうそうそれが知りたかった」という身近な問題が取り上げられていて、それぞれにまだまだたくさん課題があることも明らかにされました。

さいごに、宮城県の「地域防災計画」について、何がどんな役割を果たすのか不透明で、各機関・自治体の連携体制も不十分・検討中の課題が多く、福島原発の教訓が生かされていない、などの問題点があると指摘し、これらが未解決のままの女川原発再稼働は安全管理上も不十分である、と批判して、ひまわりネットとしての検討結果をまとめました。

第二部では、環境経済研究所の上岡直見氏が、避難計画の枠組みについて、原子力防災計画の法体系と緊急事態応急対策の実施体制を説明し、30キロのいい加減さ、政府と規制委員会の集団的無責任体制をきびしく批判しました。「規制委員会は福島事故の百分の一の規模の事故の想定で、避難計画は自治体に丸投げで無責任」だと指摘し、計画があっても少しも役に立たなかったという双葉町長の話や東海村原発事故で避難に要した時間を示し、女川が福島と同じ事態になれば、全県が避難区域になる、と福島事故の地図と宮城県を重ねて説明しました。

福島原発事故から4年7ヶ月すぎっていますが、政府は鹿児島川内原発を再稼働させ、ここ宮城でも女川原発の再稼働を狙っています。

この学習会では、住民の安全が確保されない原発再稼働などんでもないこと、と示されました。もっともっと大きな声と運動で、原発再稼働 STOP を迫って行かねばなりません。

ベラルーシ・ウクライナ調査報告

「ベラルーシ・ウクライナと飯館村」

講師・木村真三さん(放射線衛生学者)

ゲスト・伊藤延由さん(福島飯館村民)

☆10月18日(日)14時開始

エルパーク仙台6F ギャラリーホール

入場無料

新しい調査結果を伺い、今後の運動に活かしていきましょう！

「女性ネットみやぎ」街頭宣伝署名行動

11月12日12～13時

於・一番町フォーラス前

女川原発再稼働 STOP 署名を

多くの市民によびかけましょう！

お誘い合わせてご参加ください！

10月25日は宮城県議会議員選挙の投票日

—今回選出される議員が、女川原発の再稼働について判断します。

脱原発仙台市民会議の呼びかけで、女性ネットみやぎを含む県内 16 団体が共同し、10月16日告示 25日投票の宮城県議会議員選挙の予定候補者に「2017年予定の女川原発再稼働に賛成か反対か」などのアンケートを実施し、9月13日に送付し、9月30日締切です。2017年と言われる女川原発再稼働に関わる重大な判断をする議員ですから、アンケートに答えている内容を、それぞれの地域で広く知らせていきましょう。詳しくは、添付ファイルをご覧ください。

今回の立候補者は86名と報道されていますが、あて先がわかる83名に送付し、30名（自民2人・民主6人・維新2人・公明0人・共産9人・社民2人・元気1人・無所属8人）が回答しています。

被ばく健康調査を県として行うべきは22名（敬称略：かんま進・遠藤いく子・石田一也・早坂敦・大内真理・福島かずえ・藤原範典・岸田清美・角野達也・菅原実・中島廉・三浦かずとし・坂下賢・加賀剛・天下みゆき・戸津川ひさし・佐々木奈津江・熊谷義彦・内藤たかし・菅原厚・藤倉知格・佐々木功悦）、女川原発再稼働問題では**女川原発を廃炉にすべき14名**（敬称略：遠藤いく子・大内真理・福島かずえ・岸田清美・角野達也・中島廉・鎌田さゆり・三浦かずとし・加賀剛・天下みゆき・戸津川ひさし・熊谷義彦・内藤たかし・佐々木功悦）、県民投票実施7名、規制委員会の審査結果尊重2名と答えています。また、4択以外の持論を記入した方が7名います。詳しくは、別添ファイルをご覧ください。

さまざまな企画の案内が届いております。

これからの原発 STOP の活動に役立つ内容です。ぜひ、予定に入れてご参加ください。

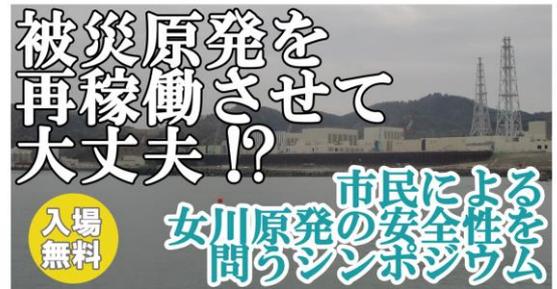
原発・放射能・子ども・平和関連の行事など、各地・各団体のとりくみ

◆脱原発デモ・アピール行進

- * 旧古川地域：大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半 ・あさひ中央公園集合後デモ
- * 塩釜地域：塩釜さん発デモ・金曜 17時半集合・下馬駅裏宮城県民医連事業協前 17時45分デモ出発
- * 岩沼市：原発ゼロ岩沼歩き隊 毎月第3金曜
- * 仙台長町地域：第3水曜日 17時半～脱原発ながまちアクション：仙台・長町・蛸薬師境内集合後デモ行進
- * 仙台中央部の「脱原発みやぎ金曜デモ」10月から集合時間が30分繰り上がっています。
10/25(日) 勾当台公園野外音楽堂 14:00～フリートーク、14:30 デモ出発



- ◆10月16日(金) 県議会議員選挙告示～25日(日)県議会議員選挙投票日
- ◆10月18日(日)14時～ 木村真三さん講演会 Part II ベラルーシ・ウクライナ調査報告「ベラルーシ・ウクライナと飯館村」
主催：放射能問題支援対策室いづみ-於・エルパーク仙台 6F ギャラリーホール 入場無料・予約不要
講師：木村真三さん（獨協医科大学准教授・放射線衛生学者）ゲスト：伊藤延由さん（飯館村村民）
- ◆10月23日(金) 13時～ 仙台市議会本会議
- ◆10月31日(土)11月1日(日)みやぎ教育のついで 記念講演「しつけと体罰—子どもの内なる力を育てる道筋—」 15時～
講師・森田ゆりさん参加費500円
- ◆毎月第2土曜日10時～12時 放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク 月例会 於・栗原市市民活動支援センター
- ◆11月7日(土)13時～「憲法9条を守り生かす宮城のついで」於・仙台サンプラザ
- ◆11月12日(木)12時～13時 一番町フォーラス前
女性ネットみやぎ街頭宣伝署名行動
- ◆11月23日(月・祝)12時半～「市民による
女川原発の安全性を問うシンポジウム」→
於・仙台駅前アエル5F 多目的ホール
- ◆11月28日(土)15時～17時 多賀城市民活動サポセン
原発0をめざす塩釜地域連絡会総会・学習会
「自然エネルギー—考え方と事業展開」
講師・水戸部秀利氏(キラキラ発電代表)
- ◆12月8日(火)平和を守る女性・母親たちの全国連鎖行動
11時錦町公園集会→12・8ピースウォーク



日時 2015年11月23日(月・祝)
12:30～16:15 (開場 12:00)
会場 仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール
(仙台市青葉区中央1-3-1 JR仙台駅前アエル5階)